

(案)

現 況 検 査・評価書

(住宅の品質確保の促進等に関する法律第5条第1項に基づく住宅性能評価書)

(既存・一戸建ての住宅)

(申請者の住所)

(申請者の氏名又は名称) 様

下記の住宅に関して、評価方法基準(平成年月日国土交通省告示第号)に基づき検査を行った結果は、この現況検査・評価書のとおりです。

この現況検査・評価書が交付された住宅を売買したとしても、売主と買主との間でこの記載内容を契約の内容とする旨の合意がなければ、この記載内容は、参考資料にとどまるものであり、売主が買主に対して検査時の状態で引き渡すことを約束したものとはなりません。

この現況検査・評価書は、建物の隠れた瑕疵(欠陥)の有無を示すものではありません。

この現況検査・評価書の記載内容は、検査・評価時点からの時間経過による変化がないことを保証するものではありません。

記

- 1. 住宅の所有者
- 2. 住宅の名称
- 3. 住宅の所在地

以上

現況検査 交付年月	監・評価書 月日	年	月	日	現況検査・評価書 交付番号	-	-	-
検査年月	日	年	月	日(複数ある場合は各々	記載)		
指定住宅性能評価機関名								
機関指定番号								
評価員氏名							ED	

. 住宅に関する基本情報

【注記】

本欄は、申請者の申告書の記載内容に基づき、当機関が通常の注意義務の範囲内で、その事実関係を確認し記載したものである。なお、中には申告書の記載内容を当機関が確認できなかったものも含まれる。

項	• •	確認した内容
1.新築の時期	着工時期	[年月頃]と確認できた(根拠:)
		[年 月頃]と申告書に記載があったが確認できなかった
		不明
	竣工時期	[年 月 日]と確認できた(根拠:)
		[年 月頃]と申告書に記載があったが確認できなかった
		不明
2.新築時の設計	設計者	[名称: 連絡先:
者、工事施工	22301	と確認できた(根拠:
者、販売業者の		[名称: 連絡先:
名称・連絡先		と申告書に記載があったが確認できなかった
		不明
	 工事施工者	[名称: 連絡先:
		[名称: 連絡先:
		日初・
		て出口目に記載がありたが、唯能できながりた 不明
	 販売業者	[名称: 連絡先:
	該当なし	L 台付・
	11.4.0.0	
		[名称: 連絡先: 連絡先:
 3.新築時の関係	設計図書等	不明 以下の設計図書等がある
図書等の有無	以미엄首寸	
DE 3 9 13		
		断面図 矩計図 設備図 構造図 構造図 構造計算書 屋根伏図 基礎配筋図 基礎伏図
		構造計算音
		いずれの存在も確認できなかった
	 新築時の建築基準法	建築基準法に基づく確認・検査関係の以下の書類がある
	関係書類等	産業金年活に塗りく確認・検査関係の次下の自規がある 確認済証又は建築確認通知書等 中間検査合格証 検査済証
		いずれの存在も確認できなかった
		その他第三者機関による以下の検査証明等がある
		住宅金融公庫融資住宅の検査を受けたことを示す以下の書類がある
		公庫現場審査に関する通知書
		住宅の性能保証に関する等第三者機関による以下の検査証明*がある
		(検査機関名称:
		工事中間時の検査証 工事完了時の検査証
		* 第三者機関による工事中間時の検査等(建築士又は建築基準適合判定資格者が
		行ったものに限る。ただし、工事監理者を除く。) を記載している
4.住宅性能表示	設計住宅性能評価	設計住宅性能評価書を確認できた
制度の利用の		[交付時期: 年 月 日、交付番号:]
有無		[利用した 利用しなかった]と申告書に記載があったが確認できなかった
	建設住宅性能評価	建設住宅性能評価書を確認できた
	ZIXIZ BIZIONI IM	「交付時期: 年 月 日、交付番号:]
		「 利用した
	 既存住宅現況検査・	現況検査・評価書を確認できた
	評価	現が検査・計画者を確認できた [交付時期: 年 月 日、交付番号:]
		日 <u>くい時期・年月日、文刊留号・</u> 現況検査・評価書を確認できた
		現が検査・計画者を確認できた [交付時期: 年 月 日、交付番号:]
	l	│ [利用した 利用しなかった]と申告書に記載があったが確認できなかった

. 住宅に関する基本情報

「記断 実施時期: 実施者名: 「実施時期: 実施者名: 6.増改築、修繕・改修の履歴 配管 や機器等の設備類の修繕・改修等は別途 に記載 修繕・改修等は別途 に記載 修繕・改修等は別途 に記載 修繕・改修等は別途 に記載 修繕・改修等は別途 に記載 修繕・改修方的な塗装の塗装の塗装ろ等軽 別なものは除く。ただし、検査 に関連し検査対象部位について行った補修については含まれる。 1 左記のとおり確認できたの記載がある 図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった 3 実施時期: 年 月頃] 左記のとおり確認できた かった 日前 日前 から なが確認できなかった 日前 日前 日前 日前 から なが確認できなかった 日前	5. 劣化診断・耐震診断等の履歴		以下の診断書等を確認できた。	
			[]診断 実施時期:	実施者名:
存在を確認できなかった				
6.増改築、修繕・改修の履歴 1 実施時期:[年月頃] 左記のとおり確認できた 申告書に左記の記載があるが確認できなかった 配管や機器等の設備類の修繕・改修等は別途 に記載 修繕・改修とは、内装の模様替え、屋根の葺き替え等をいい、部分的な塗装の塗替え等軽微なものは除く。ただし、検査に関連し検査対象部位については含まに関連し検査対象部位については含まれる。 2 実施時期:[年月頃] 左記のとおり確認できなかった 以下の記録等があるに関連し検査対象部位については含まれる。 以下の記録等があるの面施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった 」左記のとおり確認できたり確認できなかった 3 実施時期:[年月頃] 左記のとおり確認できたり確認できたかった 3 実施時期:[年月頃] 左記のとおり確認できたり確認できなかった 3 実施時期:[年月頃] 左記のとおり確認できたり確認できたりなかった 以下の記録等がある図面施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった りにずれの存在も確認できなかった 4 実施時期:[年月頃] 左記のとおり確認できたり確認できたりなかったり確認できたりなかった 4 実施時期:[年月頃] 左記のとおり確認できたりなかったりながあるが確認できなかったりできなかったりできながった。 以下の記録等がある 以下の記録等がある 」 を記のとおり確認できたりできなかったりできなかったりできなかったりできなかったりなが確認できなかったりなが確認できなかったりますなができなかったりではながある。				 実施者名:
配管や機器等の設備類の修繕・改修等は別途 . に記載			存在を確認できなかった	
配管や機器等の設備類の修 繕・改修等は別途 に記載 修繕・改修とは、内装の模様 替え、屋根の葺き替え等をいい。部分的な塗装の塗替え等軽 微なものは除く。ただし、検査 に関連し検査対象部位について行った補修については含まれる。 2 実施時期:[年 月頃] 左記のとおり確認できたかった 以下の記録等がある 図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった] 申告書に左記の記載があるが確認できなかった 以下の記録等がある 図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった] 左記のとおり確認できた。部位及び工事内容:[] 中告書に左記の記載があるが確認できなかった 3 実施時期:[年 月頃] 左記のとおり確認できた。部位及び工事内容:[] 申告書に左記の記載があるが確認できなかった 以下の記録等がある 図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった] 申告書に左記の記載があるが確認できなかった 以下の記録等がある 図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった] 申告書に左記の記載があるが確認できなかった	6.増改築、修繕・改修の履歴	1	実施時期:[年月頃]	左記のとおり確認できた
繕・改修等は別途 に記載 修繕・改修とは、内装の模様 替え、屋根の葺き替え等をいい、部分的な塗装の塗替え等軽 微なものは除く。ただし、検査に関連し検査対象部位について行った補修については含まれる。 2 実施時期:[年 月頃] 左記のとおり確認できた 即告書に左記の記載があるが確認できなかった 以下の記録等がある 図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった 以下の記録等がある 図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった) 3 実施時期:[年 月頃] 左記のとおり確認できた 即告書に左記の記載がある 図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった) 以下の記録等がある 図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった 」 左記のとおり確認できた 申告書に左記の記載があるが確認できなかった 以下の記録等がある 図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった 」 左記のとおり確認できた 申告書に左記の記載があるが確認できなかった 以下の記録等がある 」 方記のとおり確認できた 即告書に左記の記載があるが確認できなかった 以下の記録等がある 」 本記のとおり確認できた 即告書に左記の記載があるが確認できなかった			部位及び工事内容 : [
修繕・改修とは、内装の模様替え、屋根の葺き替え等をいい、部分的な塗装の塗替え等軽微なものは除く。ただし、検査に関連し検査対象部位について行った補修については含まれる。 2 実施時期:[年月頃] 左記のとおり確認できたできなかった 以下の記録等がある図面施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった 以下の記録等がある図面施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった) 3 実施時期:[年月頃] 左記のとおり確認できたのとおり確認できたの他(いずれの存在も確認できなかった 以下の記録等がある図面施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった 以下の記録等がある図面施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった 以下の記録等がある図面施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった なが確認できなかった 4 実施時期:[年月頃] 左記のとおり確認できた即告書に左記の記載があるが確認できなかった 以下の記録等がある 以下の記録等がある				るが確認できなかった
替え、屋根の葺き替え等をいい、部分的な塗装の塗替え等軽微なものは除く。ただし、検査に関連し検査対象部位について行った補修については含まれる。1、ずれの存在も確認できなかった左記のとおり確認できた明確認できたの記載がある図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった3実施時期:[年月頃]左記のとおり確認できなかった3実施時期:[年月頃]左記のとおり確認できた明確認できた明確認できた明確認できなかった3実施時期:[年月頃]左記のとおり確認できた明確認できた明確認できなかった日本できなかった日本できなかった日本できなかった日本できなかった日本できなかった日本できなかった日本できなかった日本できなかった日本では認びできなかった日本できなかった日本できなかった日本できなかった日本では認びできなかった日本では記述されている。日本ではいる。日本ではいるのはいるのはいる。日本ではいるのはいる。日本ではいる。日本ではいるのはいるのはいる。日本ではいるのはいるのはいる。日本ではいるのはいるのはいるのはいるのはいる。日本ではいるのはいるのはいるのはいるのはいるのはいるのはいるのはいるのはいるのはいる。日本ではいるのはいるのはいる。日本ではいるのはいるのはいるのはいるのはいるのはいるのはいるのはいるのはいるのはいるの				
い、部分的な塗装の塗替え等軽 微なものは除く。ただし、検査に関連し検査対象部位について行った補修については含まれる。 2 実施時期:[年月頃] 左記のとおり確認できた即告書に左記の記載があるの面が正記録 その他(いずれの存在も確認できなかった 3 実施時期:[年月頃] 左記のとおり確認できた即確認できたの記載があるの面が正記録できなかった 3 実施時期:[年月頃] 左記のとおり確認できた即確認できたいずれの存在も確認できなかった 以下の記録等があるの面が正記録をあるの面が正記録をあるの面が正記録をあるできなかった との他(いずれの存在も確認できなかった 4 実施時期:[年月頃] 左記のとおり確認できた即能認できたの記載があるが確認できなかった 以下の記録等があるの方でも確認できなかった 以下の記録等があるの記載があるが確認できなかったの記載があるが確認できなかった)
微なものは除く。ただし、検査に関連し検査対象部位について行った補修については含まれる。 部位及び工事内容:[] 申告書に左記の記載があるが確認できなかった 以下の記録等がある図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった 会をおり確認できた中告書に左記の記載があるが確認できなかった 以下の記録等がある図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった 」 左記のとおり確認できた中告書に左記の記載があるが確認できなかった 以下の記録等がある図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった 」 左記のとおり確認できなかった 4 実施時期:[年月頃] 左記のとおり確認できた中告書に左記の記載があるが確認できなかった 以下の記録等がある 」 中告書に左記の記載があるが確認できなかった				
に関連し検査対象部位については含まれる。 以下の記録等がある 図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった) 3 実施時期:[年月頃] 左記のとおり確認できた部位及び工事内容:[] 申告書に左記の記載があるが確認できなかった 以下の記録等がある図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった) 4 実施時期:[年月頃] 左記のとおり確認できた事治書に左記の記載があるが確認できなかった 以下の記録等がある 」 以下の記録等がある 」 以下の記録等がある 」		2		
て行った補修については含まれる。 以下の記録等がある 図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった) 左記のとおり確認できた 申告書に左記の記載があるが確認できなかった 3 実施時期:[年月頃] 部位及び工事内容:[] 左記のとおり確認できた 申告書に左記の記載があるが確認できなかった 4 実施時期:[年月頃] 部位及び工事内容:[] 左記のとおり確認できた 申告書に左記の記載があるが確認できなかった 以下の記録等がある 以下の記録等がある			部位及び上事内容:[
れる。 図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった) 3 実施時期:[年月頃] 年月頃] 中告書に左記の記載がある 図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった 」 以下の記録等がある 図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった 」 4 実施時期:[年月頃] 年月頃] 年月頃] 方面のとおり確認できた部位及び工事内容:[別下の記録等がある 」			11 T - +74747 (* + -7	るか催認できなかった
いずれの存在も確認できなかった 3 実施時期:[年 月頃] 左記のとおり確認できた 明告書に左記の記載があるが確認できなかった 以下の記録等がある 図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった 4 実施時期:[年 月頃] 左記のとおり確認できた 部位及び工事内容:[] 申告書に左記の記載があるが確認できなかった 以下の記録等がある 以下の記録等がある				`
3 実施時期:[年 月頃] 左記のとおり確認できた 申告書に左記の記載があるが確認できなかった 以下の記録等がある 図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった) 4 実施時期:[年 月頃] 左記のとおり確認できた 申告書に左記の記載があるが確認できなかった 以下の記録等がある 以下の記録等がある	1100)
部位及び工事内容:[申告書に左記の記載があるが確認できなかった 以下の記録等がある 図面 施工記録 その他() いずれの存在も確認できなかった 4 実施時期:[年 月頃] 左記のとおり確認できた部位及び工事内容:[財中告書に左記の記載があるが確認できなかった		2		したこのしものを初っても
以下の記録等がある 図面 施工記録 その他() いずれの存在も確認できなかった 左記のとおり確認できた 部位及び工事内容:[] 申告書に左記の記載があるが確認できなかった		3		
以下の記録等がある 図面 施工記録 その他()) いずれの存在も確認できなかった (本) 左記のとおり確認できたの記載がある お位及び工事内容:[] 申告書に左記の記載がある のが確認できなかった			部位及び工事内容:[- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった) 4 実施時期:[年 月頃] 左記のとおり確認できた部位及び工事内容:[] 申告書に左記の記載がある 以下の記録等がある			リエの句色学がちょ	うが確認できながった
いずれの存在も確認できなかった 4 実施時期:[年 月頃] 左記のとおり確認できた部位及び工事内容:[] 申告書に左記の記載がある 以下の記録等がある				,
4実施時期:[年 月頃]左記のとおり確認できた 部位及び工事内容:[申告書に左記の記載がある以下の記録等がある)
部位及び工事内容:[申告書に左記の記載がある以下の記録等がある		1		・ 左記のとおり確認できた
		4		
以下の記録等がある				
			以下の記録等がある	1 00 HE NO CC - G10 07C
			図面 施工記録 その他()
いずれの存在も確認できなかった				,

_								
項	目	記載内容						
7.被災の履歴		被災していないと申告書に						
		以下のとおり申告書に記載	があった					
		地震による被災(内容:		、時期:	· ·			
		火災による被災(内容:		、時期:	-	,		
		水害による被災(内容:		、時期:	· ·	,		
		その他の被災 (内容:		、時期:	年	月頃)		
		申告書に記載なし又は不明						
8.日常生活上の	漏水	以下のとおり申告書に記載	があった					
不具合等		過去に漏水したことはな	<i>[]]</i>					
(過去 5 年間		右記のとおり漏水あり	場所:[]				
に発生したも		右記のとおり漏水した	漏水の頻度:					
Ø)		が修繕し、その後漏水		大雨(長雨)の時漏	水する			
		はない		雨と関係なく漏水で	する			
				その他()			
			漏水量:	バケツに溜まる程原	莡			
				水滴が落ちる程度				
				シミで天井等が汚れ	れる程度			
				その他()			
		申告書に記載なし又は不明						
	結露(浴室を除く)	結露したことがないと申告						
		以下の場所において結露し		申告書に記載があっ	た			
		屋外に面する壁の室内側						
		屋外に面する壁とT字型		壁の屋外に面する壁	側付近			
		屋外に面する壁と天井、						
		屋外に面する壁に接して	置いた家具の裏	面の壁等				
		押入れの壁等						
		居室の天井の表面 居	室の床の表面	その他()		
		申告書に記載なし又は不明						
	その他	その他の日常生活上の不具			_			
		以下のとおり日常生活上の	不具合があると	申告書に記載があっ	た			
		[]					
		申告書に記載なし又は不明						

. 現況検査に関する表示事項

1.現況検査(部位等・事象別の判定)

【注記】

「住宅に関する基本情報」を踏まえ、当機関が、評価方法基準に従って、通常の手段をもって目視が可能と判断した範囲を目視等により検査し、その時点において詳細調査又は補修を要する事象が認められたか否を表示している。

「確認欄」は部位毎の目視できた範囲を示し ~ の意味は次のとおり。

:すべて又はほとんど確認できた(9割以上) : 過半の部分は確認できた(5割超9割未満)

:過半の部分は確認できなかった(1割以上5割以下) :ほとんど確認できなかった(1割未満)

:まったく確認できなかった

なお、「結果」欄がaとなるのは、「確認」欄が ~ の場合のみとしている。

			項目		結	果
					a . 詳細調査又は補	b.詳細調査又は
部位等			表示すべ	べき事象	修を要する事象は	補修を要する事
	確認欄				認められない	象が認められる
1-1		4	コンクリート打放	ひび割れ		
基礎のうち屋外		仕上げ	し又はモルタル仕	欠損		
に面する部分		げ	上げ	鉄筋の露出		
(壁又は柱と異)		材		その他[]		
なる仕上げとな			その他			
っている場合に				<u>г</u>		
限る。)			l J	<u>Г</u> 1		
1-2			モルタル仕上げ等	ひび割れ		
壁、柱及び梁並		性	こルグルはエいき	欠損		
びに基礎(壁又		仕 上 げ		剥がれ		
は柱と同一の仕		材				
上げとなってい			// / / / / / / / / /	その他[]		
る場合に限る。)			仕上げ塗材	ひび割れ		
のうち屋外に面				欠損		
する部分				剥がれ		
A 2011)]				その他[]		
			サイディングボー	欠損		
			ド等	剥がれ		
				腐食		
				その他[]		
			タイル	ひび割れ		
				欠損		
				浮き		
				剥がれ		
				その他[]		
			その他	[]		
			[]	[]		
			-	[]		
		シー	·リング材	破断		
				接着破壊		
				その他[]		
1-3		71	粘土がわら、厚形ス	割れ		
屋根		仕上げ	レート、住宅屋根用	欠損		
/主版		げ	化粧スレート、シン	ずれ		
		材	グル類スレート	剥がれ		
			> / V X X V V V V V V V V V V V V V V V V			
			ク屋の屋田	その他[]		
			金属系屋根	腐食		
			(下地が鋼板であるも	その他[]		
			のに限る)	r 1		
			その他	<u> </u>		
			l I			
]		l		11		

. 現況検査に関する表示事項 (続き)

			項目		結	果
					a . 詳細調査又は補	b . 詳細調査又は
部位等			表示すべ	べき事象	修を要する事象は	補修を要する事
	確認欄				認められない	象が認められる
1-4		仕	フローリング等	剥がれ		
屋内の床		仕上げ材		その他[]		
		材	タイル類	欠損		
				剥がれ		
				その他[]		
			その他			
			[]			
		<u> </u>	N±	<u> </u>		
			沈み (ES)			
-			傾斜	-1-10thul-		
1-5 P苹 +→ T2-2×375		仕 上 げ 材	モルタル仕上げ等	ひび割れ		
壁、柱及び梁 のうち屋内に		上 げ		欠損		
面する部分		材		その他[]		
田ゝの마刀			仕上げ塗材	ひび割れ		
				欠損		
				その他[]		
			化粧石こうボード	欠損		
			等	剥がれ		
				腐食		
				その他[]		
			タイル	ひび割れ		
				欠損		
				剥がれ		
			D\$ 1.45 555	その他[]		
			壁紙等	ひび割れ		
				欠損 スタルに 1		
			7 O /IL	その他[]		
			その他			
			[]	I J		
		傾斜				
			<u>' </u>			
1-6			仕上げ塗材	ひび割れ		
天井		仕 上 げ 材	11111年7月	欠損		
		げ		- ^{入頂} その他[]		
		材	化粧石こうボード	欠損		
			等	剥がれ		
			-	腐食		
				その他[]		
			壁紙等	ひび割れ		
				欠損		
				その他[]		
			その他	[1		
				[1		
			-	[1		
		漏水	等の跡	•		
1-7		踏面		沈み		
階段				欠損		
				腐食		
		転	落防止用手すり	手すりのぐらつき		
				支持部分の腐食		
		その	他[]			

. 現況検査に関する表示事項(続き)

		項	目		結	果
					a . 詳細調査又は補	b . 詳細調査又は
部位等		表示すべき事象		べき事象	修を要する事象は	補修を要する事
	確認欄				認められない	象が認められる
1-8		_喜 直下	が屋内である場	床の防水層の破断		
バルコニ -		直合合の		床のひび割れ		
		Φ		床の沈み		
		 	が屋内でない場			
		合 合	75 721 5 6 6 7 7 9	支持部分の腐食		
				23311733377		
		転落防止	用手すり	手すりのぐらつき		
				支持部分の腐食		
		その他[]	•		
1-9		建具周囲の	 隙間			
屋外に面する		建具の開閉				
開口部(雨戸、		転落防止		手すりのぐらつき		
網戸及び天窓		.=		支持部分の腐食		
を除く。)		その他[1	1		
1-10)割れ		
土台及び床						
組		その他[1			
		C 45/10[,			
1-11 小屋組		雨漏り等の	跡			
3 /22//02		小屋組の接	合部分の割れ			
		その他[]			
1-12 雨樋(竪樋		詰まり				
を含む)		破損				
		その他[]			
2-1	/	漏水				
給水設備		赤水				
		給水流量の	不足			
		その他[1			
2-2	/	漏水				
排水設備		M/M				
		浄化槽		損傷		
		が心情		腐食		
		その他[1	尚 艮		
2-3	/	その他[漏水	J			
給湯設備						
		赤水	T	サ ケ て立		
		給湯器		排気不良		
				着火不良		
2.4	/	その他[
²⁻⁴ 換気設備		作動不良	++			
TX XVIX III		ダクトの脱	落			
	<u>/</u>	その他[]			
2-5 浴 槽		損傷				
/D18		腐食				
	<u>/</u>	その他[]			
3-1 すべての部位	/		べき事象の検	査を通じて発見された腐朽		
(3.特定現況	/	等・蟻害				
検査を選択し						
ている場合は						
表示しない。)	/					

. 現況検査に関する表示事項(続き)

2.現況検査(総合判定)

項目									
現況検査	評価	評価対象の住宅に認められる詳細な調査又は補修を要する特定の劣化事象等により総合的に判定される現況の							
(総合判定)	程度								
	/ └────────────────────────────────────								
		べて a 判定である)							
	区分				- ヘハケギ伽甸木	ひけば似た西すっ声	色が切めこわえ(□)		
						又は補修を要する事	•		
		9 7	יתו	かり判定でめる	(b判定とみなる	sれる場合を含む) ^{注2})		
	r ÷-	+色し」も活り	1 /	击担 /1					
	L X	象とした項目	1 (-			L+	m I		
	 			項目		結 a .詳細調査又は補修を	果 b.詳細調査又は補修		
		部位等		表示すべ	き事象	要する事象は認められない	を要する事象が認められる		
	1-		せ	コンクリート打	ひび割れ				
		礎のうち屋外に	仕上げ:	放し又はモルタ	欠損				
		する部分	材	ル仕上げ	鉄筋の露出				
	1 -	2、柱及び梁並びに基	仕上げ	モルタル仕上げ					
		(壁又は柱と同一の	げ 材		欠損				
		上げとなっている	'	/	剥がれ				
		合に限る。) のうち		仕上げ塗材	ひび割れ				
		外に面する部分			欠損 剥がれ				
			-	タイル	ひび割れ				
				7 170					
					浮き				
					剥がれ				
			シ-	- リング材	破断				
					接着破壊				
	1- 层	3 根	仕	粘土がわら、厚形ス					
	座	πx	仕上げ材	レート、住宅屋根用					
			材	化粧スレート、シン グル類スレート	_ ずれ 剥がれ				
				金属系屋根(下地					
				が鋼板であるも	<i>11≈</i> 3 5×				
				のに限る)					
				その他[]	[] ^{注1}				
	1-		傾	<u></u>					
	<u></u>	<u>内の床</u> 5	傾縮	过					
		、柱及び梁のう		ч					
	ち	屋内に面する部							
	分								
	1 -	8 バルコニ -	真下の状況	直下が屋内であ る場合	床の防水層の破断				
		, ,,,	の状	の场口					
			淣						
		10	土台	」 台及び床組の接合部分	 }の割れ				
		土台及び床組							
	1 -	11 小屋組		屋組の接合部分の割れ	l				
	3-			扇り等の跡 ひ表示すべき事象のホ	食査を通じて発見され	/			
		べての部位		の表示すべき事家の代 タ朽等・蟻害	x且で四UC充兄C11				
	-	「3 特定現況検	, , ,	21.2.3 AME					
		」を選択した場							
		は、3-1 及び							
	注:	- 2 の結果による ³)							
		,				\vee			

- 注1:"その他"の記載内容が、"防水層の破断"などここで対象とした項目に相当すると認められる場合は、それらの結果を含めて判定するものとする。
- 注2:「確認欄」が 及び である場合は、結果がりでなくても、現況検査(総合判定)の判定にあたってはりとみなす。ただし、「1-3 屋根」については、「1.現況検査(部位等・事象別の判定)」の「確認欄」が 及び であり、かつ結果がり判定でない場合は、現況検査(総合判定)の対象外とする。
- 注3:「3.特定現況検査」を選択した場合は、「3-1.腐朽等」及び「3-2.蟻害」の結果を参照し、どちらかが認められる場合は「2.現況検査(総合判定)」の結果を"B"とし、どちらも認められない場合は当該項目をaとみなす。

. 現況検査に関する表示事項(続き)

3 .特定現況検査【選択項目 (オプション)】

項目	3	結	果		
特定現況	1	a.腐朽、菌糸・子実体が認められない	b.腐朽、菌糸		められる
検査	腐朽等		【腐朽等が認めら		+
			基礎	外壁	軒裏
検査を補助			土台・床組	小屋組	
した者の氏			その他[]	
名又は名称	2	a.シロアリの蟻道、被害が認められない	b.シロアリの	蟻道、被害が誇	忍められる
	蟻害		【蟻道が認められ	る部位】	
			基礎	外壁	軒裏
			土台・床組	小屋組	
			その他[]	
			【被害が認められ	る部位】	
			基礎	外壁	軒裏
			土台・床組	小屋組	
			その他[]	

. 性能評価に関する表示事項

(注)項目に付されている番号は評価方法基準上の番号を表す

			(圧)項目にいて10人にも自らは計画力法を学工の自らを収り
	項 目		結 果
1.構造の	1-1 耐震		地震に対する構造躯体の倒壊、崩壊等のしにくさ
安定に	等級	劣化等	劣化等の影響を考慮しない場合の地震に対する構造躯体の倒壊、崩壊等のしにくさ
関する	(構造躯		
		の影響	劣化等の影響を考慮しない場合に、極めて稀に(数百年に一度程度)発生する地震によ
こと	体の倒壊	を考慮	│ 3 │ る力(建築基準法施行令第 88 条第3項に定めるもの)の 1.5 倍の力に対して倒壊、
	等防止)	しない	崩壊等しない程度
	[選択	場合の	劣化等の影響を考慮しない場合に、極めて稀に(数百年に一度程度)発生する地震によ
	せず]	等級	│ 2 │ る力(建築基準法施行令第 8 8 条第 3 項に定めるもの)の 1.2 5 倍の力に対して倒壊、
			崩壊等しない程度
			。 劣化等の影響を考慮しない場合に、極めて稀に(数百年に一度程度)発生する地震によ
			「 る力 (建築基準法施行令第 88 条第 3 項) に対して倒壊、崩壊等しない程度
			0 その他
		劣化事	構造耐力に関連する劣化事象等が認められる
		象等	
		多り	L
			J
			一 その他
	1-2 耐震		地震に対する構造躯体の損傷(大規模な修復工事を要する程度の著しい損傷)の生じにくさ
	等級	劣化等	お化等の影響を考慮しない場合の地震に対する構造躯体の損傷(大規模な修復工事を要する
	(構造躯	の影響	程度の著しい損傷)の生じにくさ
	体の損傷	を考慮	劣化等の影響を考慮しない場合に、稀に(数十年に一度程度)発生する地震による力(建
	防止)	しない	3 築基準法施行令第88条第2項に定めるもの)の1.5倍の力に対して損傷を生じない
	[選択	場合の	程度
	せず]	等級	
			│ 2 │ 築基準法施行令第 8 8 条第 2 項に定めるもの)の 1.2 5 倍の力に対して損傷を生じない
			程度
			1 その他
		劣化事	構造耐力に関連する劣化事象等が認められる
		象等	[
		30.43	
]
			その他
	1-3 耐風		暴風に対する構造躯体の倒壊、崩壊等のしにくさ及び構造躯体の損傷(大規模な修復工事を要
	等級		する程度の著しい損傷)の生じにくさ
		712 /12 AC	
	(構造躯		劣化等の影響を考慮しない場合の暴風に対する構造躯体の倒壊、崩壊等のしにくさ及び構造
	体の倒壊		躯体の損傷(大規模な修復工事を要する程度の著しい損傷)の生じにくさ
	等防止及	を考慮	
	び損傷防	しない	トスカノ建筑は進出地に入笠のスタに中央スナのの40位との40位のカに対して例
	止)	場合の	
			│ └ │ 壊、崩壊等せず、稀に(50 年に一度程度)発生する暴風による力の 1.2 倍の力に対し │
	[選択	等級	て損傷を生じない程度
	せず]		□ 1 │ その他
		劣化事	構造耐力に関連する劣化事象等が認められる
		象等	L
		1]
]	その他
	1-4 耐積	1	屋根の積雪に対する構造躯体の倒壊、崩壊等のしにくさ及び構造躯体の損傷(大規模な修復工
	雪等級		事を要する程度の著しい損傷)の生じにくさ
	(構造躯	劣化等	劣化等の影響を考慮しない場合の屋根の積雪に対する構造躯体の倒壊、崩壊等のしにくさ及
	体の倒壊	の影響	び構造躯体の損傷(大規模な修復工事を要する程度の著しい損傷)の生じにくさ
	等防止及	を考慮	劣化等の影響を考慮しない場合に、極めて稀に(500年に一度程度)発生する積雪に
	び損傷防	しない	2 よる力(建築基準法施行令第86条に定めるものの1.4倍)の1.2倍の力に対して倒
	止)	場合の	│
	[選択	等級	て損傷を生じない程度
	せず]	-5 ///	
	[[]	//s //: ±	
		劣化事	構造耐力に関連する劣化事象等が認められる
		象等	
		1	1
		1	」 - その他
		<u> </u>	
	1-5 地盤		地盤又は杭に見込んでいる常時作用する荷重に対し抵抗し得る力の大きさ及び地盤に見込
	許容支持力	等及びそ	│ んでいる抵抗し得る力の設定の根拠となった方法
	の設定方法		地盤の許容応力度 [kN/m²] 杭の許容支持力 [kN/本]
	[選択せ		地盤調査方法等 [
	1-6 基礎		直接基礎の構造及び形式又は杭基礎の杭種、杭径及び杭長
1	法及び形式	等	直接基礎 構造方法 [形式 [形式 [
	[選択せ	-ਰ 1	杭基礎 杭種 [

. 性能評価に関する表示事項(続き)

	項 目	
2.火災時	2-1 感知警報装置設	ーニース 評価対象住戸において発生した火災の早期の覚知のしやすさ
の安全	置等級	「延価対象住戸において発生した火災のうち」 すべての台所及び民家で発生した火災を
に関す	(自住戸火災時)	4 早期に感知し、住戸全域にわたり警報を発するための装置が設置されている
ること	[選択せず]	
	<u> </u>	3 評価対象性产において発生した人及のづち、すべての古所及の居堂で発生した人及を 早期に感知し、当該室付近に警報を発するための装置が設置されている
		「延価対象住戸において発生した火災のうち」台所及び1以上の民家で発生した火災を
		2 所価対象は/ にのがて完全した人类のプラ、ロが及びする工の店室で完全した人类を 感知し、当該室付近に警報を発するための装置が設置されている
		1 その他
	2-4 脱出対策(火災	通常の歩行経路が使用できない場合の緊急的な脱出のための対策
	時)	直通階段に直接通ずるバルコニー 隣戸に通ずるバルコニー
	[選択せず]	避難器具「
	2-5 耐火等級	延焼のおそれのある部分の開口部に係る火災による火炎を遮る時間の長さ
	(延焼のおそれのある部	3 火炎を遮る時間が60分相当以上
	分(開□部))	2 火炎を遮る時間が 20 分相当以上
	[選択せず]	2 八久と無る所向が 20 万相当久上 1 その他
	2-6 耐火等級	- 1 との心 - 延焼のおそれのある部分の外壁等(開口部以外)に係る火災による火熱を遮る時間の長さ
	(延焼のおそれのあ	4 火熱を遮る時間が60分相当以上
	る部分(開口部以	
	り かり (3 火熱を遮る時間が 45 分相当以上 2 火熱を遮る時間が 20 分相当以上 2 火熱を遮る時間が 20 分相当以上
	パリー [選択せず]	2 火熱を巡る時间か 20 万相ヨ以上 1 その他
A 4仕+± 竺	4-1 維持管理対策等	1
4.維持管	4-1 維持官理別東寺 級(専用配管)	専用の給排水管及びガス管の維持管理(清掃、点検及び補修)を容易とするため必要な対策の 程度
理への配慮に	級(専用配官 <i>)</i> [選択せず]	程度 掃除口及び点検口が設けられている等、維持管理を容易にすることに特に配慮した指
関する		3
声する		_
رر		2 配官をコブグリートに埋め込まない寺、維持官理を行うための基本的な指置が譲した れている
		1 その他
6.空気環	6-3 局所換気設備	1 1 1 2 2 2 2 2 2 2
境に関	便所該当なし	使所: 機械換気設備 換気のできる窓 なし
するこ	浴室該当なし	
ع ق	台所該当なし	台所: 機械換気設備 換気のできる窓 なし
	[選択せず]	
	6-4 室内空気中の化	評価対象住戸の空気中の化学物質の濃度及び測定方法
	学物質の濃度等	特定測定物質の濃度:[]
	「選択せず)	特定測定物質の振度:[]
	[~	加足語典の名称:[]
		採取を行った時刻等 :[~] 採取条件(居室の名称):[]
		(室温(平均の温度)):[]
		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		「ホルムアルデヒド] (天候):[]
		(大阪グル) こ (大阪グル) (日照の状況):[
		(換気の実施状況):[
		(冷暖房の実施状況):[]
		(家具等の設置状況):[
		(その他):[]
		分析した者の氏名又は名称:[
		特定測定物質の濃度:[]
		測定器具の名称:[]
		採取を行った年月日 :[年 月 日]
		採取を行った時刻等 :[~]
		採取条件(居室の名称):[]
		(室温(平均の温度)):[]
		特定測定物質の名称 (相対湿度(平均の相対湿度)):[%]
		[(天候):[]
		(日照の状況):[
		(換気の実施状況):[]
		(冷暖房の実施状況):[]
		(家具等の設置状況):[]
		(その他):[]
		分析した者の氏名又は名称:[]

. 性能評価に関する表示事項(続き)

	項 目	結 果
	6-4 室内空気中の化学物質の濃度等(続き)	特定測定物質の濃度:[] 測定器具の名称:[年 月 日] 採取を行った年月日 :[年 月 日] 採取を行った時刻等 :[~] 採取条件(居室の名称):[] (室温(平均の温度)):[] (相対湿度(平均の相対湿度)):[%] (天候):[] (月照の状況):[] (換気の実施状況):[] (次暖房の実施状況):[] (次暖房の設置状況):[] (次場等の設置状況):[] (子の他):[] (子の他):[]]
	7-1 単純開口率	居室の外壁又は屋根に設けられた開口部の面積の床面積に対する割合の大きさ
環境に	[選択せず]	単純開口率:[%]
関すること	7-2 方位別開口比	居室の外壁又は屋根に設けられた開口部の面積の各方位毎の比率の大きさ
رر	[選択せず]	北:[%] 東:[%]
		南 :[%] 西 :[%] 真上:[%]
9.高齢者	9-1 高齢者等配慮	住戸内における高齢者等への配慮のため必要な対策の程度
等への	対策等級	高齢者等が安全に移動することに特に配慮した措置が講じられており、介助用車いす使
配慮に	(専用部分)	5 用者が基本的な生活行為を行うことを容易にすることに特に配慮した措置が講じられて
関する	[選択せず]	113
こと		
		喜齢者等が安全に移動するための基本的が措置が講じられており、企助田東口は使田者
		3 が基本的な生活行為を行うための基本的な措置が講じられている
		2 高齢者等が安全に移動するための基本的な措置が講じられている
		2 高齢者等が安全に移動するための基本的な措置の一部が講じられている
		1 その他

【注記】

本欄は、申請者の申告書の記載内容に基づき、当機関が通常の注意義務の範囲内で、その事実関係を確認し記載したものである。なお、中には申告書の記載内容を当機関が確認できなかったものも含まれる。

- 注1.プラスチック管とは、硬質塩化ビニル管(VP)、耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP)、架橋ポリエチレン管(XPE)、ポリブデン管(PB)、耐火二層管等。鋼管とは、亜鉛めっき鋼管(SGP)、水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(SGP・V)、排水用塩化ビニルライニング鋼管(SGP・DV)、コーティング鋼管等。その他とは、銅管(CUP)、ステンレス鋼管(SUS)等。
- 注2. その他の設備とは、全般換気システム(24時間換気)、電化厨房、ディスポーザー(生ごみを粉砕し排水と一緒に排水管に投入する装置)、浴室暖房乾燥機、セキュリティシステム、情報・通信設備、200V対応配線設備等、生活利便上有益な情報として特記すべき設備。

	項 目		確認した内容		
給水管	配管材料		確認箇所:[] 配管材料 ^{注1} : プラスチック管 鋼管 その他(名称:)	左記のとおり確認できた 不明
	修繕・改修、取り替え等の履歴(軽微なものを除ると	1	実施時期:[年月頃] 部位及び工事内容:[]	左記のとおり確認できた 申告書に左記の記載があ るが確認できなかった (分からないとあった場 合を含む。以下、同じ。)
	3 回分を記載 している。以下 同じ。)		以下の記録等がある 図面 施工記録 その他 (いずれの存在も確認できなかった	')
		2	実施時期:[年月頃] 部位及び工事内容:[]	左記のとおり確認できた 申告書に左記の記載があ るが確認できなかった
			以下の記録等がある 図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった)
		3	実施時期:[年月頃] 部位及び工事内容:[]	左記のとおり確認できた 申告書に左記の記載があ るが確認できなかった
			以下の記録等がある 図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった)
排水管	配管材料		確認箇所:[] 配管材料 ^{注1} : プラスチック管 鋼管 その他(名称:)	左記のとおり確認できた 不明
	修繕・改修、取 り替え等の履 歴	1	実施時期:[年月頃] 部位及び工事内容:[]	左記のとおり確認できた 申告書に左記の記載があ るが確認できなかった
			以下の記録等がある 図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった)
		2	実施時期:[年 月頃] 部位及び工事内容:[]	左記のとおり確認できた 申告書に左記の記載があ るが確認できなかった
			以下の記録等がある 図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった)
		3	部位及び工事内容:[1	左記のとおり確認できた 申告書に左記の記載があ るが確認できなかった
			以下の記録等がある 図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった	,)
給湯管	配管材料		確認箇所:[配管材料 ^{注1} : プラスチック管 鋼管 その他(名称:)	左記のとおり確認できた 不明
	修繕・改修、取 り替え等の履 歴	1	実施時期:[年月頃] 部位及び工事内容:[]	左記のとおり確認できた 申告書に左記の記載があ るが確認できなかった

. 設備に関する基本情報(続き)

項目			確認した内容	
			以下の記録等がある 図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった)
		2	実施時期:[年 月頃] 部位及び工事内容:[]	左記のとおり確認できた 申告書に左記の記載があ るが確認できなかった
			以下の記録等がある 図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった)
		3	実施時期:[年月頃] 部位及び工事内容:[月頃]	左記のとおり確認できた 申告書に左記の記載があ るが確認できなかった
			以下の記録等がある 図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった)
給湯器	熱源		ガス 石油 電気 その他()	左記のとおり確認できた 不明
	給湯方式		瞬間式(給湯能力:(号) 不明) 貯湯式(容量:(L)燃焼量(L/h) 不明) その他()	
	修繕・改修、取 り替え等の履 歴	1	実施時期:[年月頃] 部位及び工事内容:[]	左記のとおり確認できた 申告書に左記の記載があ るが確認できなかった
			以下の記録等がある 図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった)
		2	実施時期:[年月頃] 部位及び工事内容:[]	左記のとおり確認できた 申告書に左記の記載があ るが確認できなかった
			以下の記録等がある 図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった)
		3	実施時期:[年月頃] 部位及び工事内容:[]	左記のとおり確認できた 申告書に左記の記載があ るが確認できなかった
			以下の記録等がある 図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった)
浴槽又はユ ニットバス			在来工法 ユニットバス [型番:]	左記のとおり確認できた 不明
	修繕・改修、取 1 り替え等の履 歴	1	実施時期:[年月頃] 部位及び工事内容:[月頃]	左記のとおり確認できた 申告書に左記の記載があ るが確認できなかった
			以下の記録等がある 図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった)
		2	実施時期:[年月頃] 部位及び工事内容:[月頃]	左記のとおり確認できた 申告書に左記の記載があ るが確認できなかった
			以下の記録等がある 図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった)
		3	実施時期:[年末日月頃] 部位及び工事内容:[月頃]	左記のとおり確認できた 申告書に左記の記載があ るが確認できなかった
			以下の記録等がある 図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった)

. 設備に関する基本情報(続き)

			確認した内容		
暖冷房設備	熱源・方式		(複数回答可)		左記のとおり確認できた
(ビルトイ			ガス 石油 電気 その他()		不明
ンタイプの ものに限 る)		1	実施時期:[年月頃] 部位及び工事内容:[]	左記のとおり確認できた 申告書に左記の記載があ るが確認できなかった
該当なし	ine .		以下の記録等がある 図面 施工記録 その他 (いずれの存在も確認できなかった	•)
		2	実施時期:[年月頃] 部位及び工事内容:[]	左記のとおり確認できた 申告書に左記の記載があ るが確認できなかった
			以下の記録等がある 図面 施工記録 その他 (いずれの存在も確認できなかった)
		3	実施時期:[年月頃] 部位及び工事内容:[]	左記のとおり確認できた 申告書に左記の記載があ るが確認できなかった
			以下の記録等がある 図面 施工記録 その他 (いずれの存在も確認できなかった)
床暖房設備 該当なし	床暖房設備の種類	<u></u>	温水式 電気式 床暖房設備の設置なし その他()		左記のとおり確認できた 不明
	熱源		ガス(個別熱源器 セントラル方式その他())石油 電気 その他()		左記のとおり確認できた 不明
	修繕・改修、取 り替え等の履 歴	1	実施時期:[年月頃] 部位及び工事内容:[]	左記のとおり確認できた 申告書に左記の記載があ るが確認できなかった
	_		以下の記録等がある 図面 施工記録 その他 (いずれの存在も確認できなかった)
		2	実施時期:[年 月頃] 部位及び工事内容:[]	左記のとおり確認できた 申告書に左記の記載があ るが確認できなかった
			以下の記録等がある 図面 施工記録 その他 (いずれの存在も確認できなかった)
		3	実施時期:[年月頃] 部位及び工事内容:[]	左記のとおり確認できた 申告書に左記の記載があ るが確認できなかった
			以下の記録等がある 図面 施工記録 その他 (いずれの存在も確認できなかった)
浄化槽 該当なし	方式		単独 合併 その他()		左記のとおり確認できた 不明
	処理対象人数		()		左記のとおり確認できた 不明
	修繕・改修、取 り替え等の履 歴	1	実施時期:[年月頃] 部位及び工事内容:[]	左記のとおり確認できた 申告書に左記の記載があ るが確認できなかった
			以下の記録等がある 図面 施工記録 その他(いずれの存在も確認できなかった)
		2	実施時期:[年月頃] 部位及び工事内容:[]	左記のとおり確認できた 申告書に左記の記載があ るが確認できなかった
			以下の記録等がある 図面 施工記録 その他 (いずれの存在も確認できなかった)
		3	実施時期:[年 月頃] 部位及び工事内容:[]	左記のとおり確認できた 申告書に左記の記載があ るが確認できなかった

. 設備に関する基本情報(続き)

項目		確認した内容	
		以下の記録等がある 図面 施工記録 その他 (いずれの存在も確認できなかった)
	清掃の有無	実施時期:[左記のとおり確認できた 申告書に左記の記載があ るが確認できなかった
その他の設備	設備の種類 ^{注 2}		左記のとおり確認できた 申告書に左記の記載があ るが確認できなかった

. その他の特記事項

項目	内 容
その他の特記事項	
(擁壁の状態、地盤の状態、その他特筆 すべき事項)	
, , , C 事境)	
この項目は、当機関が他の項目の検査	
を行う過程で把握した事項を記載し	
たものである。	

別	添		

現況検査結果概況

- ・計細調宜又は補修を要する事家めりとされた事業	家のつら土なものの内谷及ひ固所 ニューニー
	、スケッチ等で表現
<u> </u>	
図面名称	縮尺 /
検査に用いた器具等の名称その他検査の方法	現況検査に用いた書類
	申告書
	「申請者の氏名:
	記入年月日 : 年 月 日]
	その他